

あしおかせ 増刊号

発行日 令和8年3月1日
編集・発行 焼津市 市民環境部 協働推進課
☎054-626-1178 ☎054-626-2183
✉kyodo@city.yaizu.lg.jp

男女共同参画社会とは、世代や性別にかかわらず、誰もが自分らしく暮らせる社会です。そのためにも、私たちの住む地域や身近な社会生活について、行政や市民、企業、団体などが互いに知り、学び、考え、共に社会をつくって動かしていきましょう。



Aしおかせトピックス

自分らしく、しなやかなライフデザイン ～新時代の風に乗って～

【用語解説】ジェンダー

生物学的な性とは違い、社会や文化によって形作られた性別のこと。「男だから」「女だから」といった固定的な役割分担や偏見を生む原因にもなります。

女性総理誕生

昨年10月、我が国に史上初の女性総理大臣が誕生しました。このニュースは、長年男性が中心だった日本の政治において、歴史的な転換点となりました。

こうした大きな前進を見せた一方、世界と比較すると日本の現状にはまだ課題が残ります。各国の男女格差を測るジェンダーギャップ指数(2025年)において、日本は148カ国中118位であり、特に「政治」と「経済」の分野で遅れが目立ちます。政治分野の女性議員比率は、世界には半数を超える国もあり、G7諸国でも30～40%程度が一般的であるのに対し、日本(衆議院)はわずか15% (2月12日時点)にとどまります。経済分野でも、女性管理職の割合は他国と比較して極めて低い水準にあり、多様な視点を経営や組織運営に生かされにくい構造が続いています。

女性総理誕生をきっかけに、従来の固定的

な性別役割分担意識の解消や、意思決定の場に多様な視点を取り入れる仕組み作りなど、改めて男女共同参画社会の実現に向けた社会構造の変化が期待されます。

ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)とは、「仕事」に責任を持ちつつ、家庭や地域活動、趣味や休息といった「生活」の時間も大切にできる状態を指します。現状では「仕事」か「生活」どちらか一方の選択を余儀なくされ、自身のキャリアや希望のライフスタイルを諦めてしまうケースも少なくありません。

こうした現状を変えていくためには、企業や行政が制度を整えるのももちろんのこと、家庭においては家事・育児をチームプレーと捉えたり、職場ではお互いの事情を尊重して助け合ったりなど、社会全体で少しずつ意識

を変えていくことが大切です。一人一人が自分に合ったバランスを実現できると、心身の健康や生活の充実につながり、新しいアイデアや活力も生まれてきます。

「仕事」か「生活」かの二者択一ではなく、どちらも大切にできる社会へ。お互いさまの気持ちで支え合い、小さな変化を積み重ねることで、誰もが自分らしく輝ける社会を共につくっていきましょう。



女性相談室

女性が抱える悩みや困りごとを相談員が伺います。一人で悩まずご相談ください。

いつでも一と
専用電話番号 **639-5810**
日時 平日(市役所開庁日) 9:00～17:00

誰もがいきいきと活躍できる職場に

「男女共同参画社会づくり宣言制度」は、男女共同参画社会づくりに取り組む事業所や団体を応援するために県が実施している制度です。従業員の子育てや介護、個性と能力の発揮、ワーク・ライフ・バランスの実現など、男女共同参画社会の推進に積極的に取り組むことを宣言した事業所、団体を登録しています。

市内では52の事業所が宣言しています(2025年11月現在)。
制度に関する問合先
静岡県男女共同参画課 ☎221-3363

新たに宣言した事業所を紹介します

青島ポンプ工業株式会社

- 育児・介護休暇を取得しやすい制度、体制を整備します
- 人間関係を大切にし、話がしやすい職場作りを推進します
- 男性の子育てを推進します

株式会社マルテ小林商店

- 女性の能力を発揮できるよう、従業員の意識改革を進めます
- あらゆる職種への女性の登用を進めます
- 短時間勤務やテレワークなど、仕事と生活の調和のための制度を整備します

※宣言内容は紙面の都合上、一部編集させていただきます。

男女共同参画社会実現のために

市では、男女共同参画社会を実現するため、さまざまな取り組みを行っています。

- 男女共同参画プランの策定・推進
- 男女共同参画フォーラムの開催
- 男女共同参画セミナーの開催
- アドバイザー派遣事業の実施
- 職員向け研修
- 情報紙(あしおかせ)の編集・発行
- 性の多様性への理解促進
- 審議会などへの女性委員の登用促進 など



市ホームページ(男女共同参画)

男女共同参画・人権フォーラム in やいづ 2025



昨年12/6(土)に「焼津市男女共同参画・人権フォーラム」を開催しました。辻亜沙子さんを講師に招き、令和時代のジェンダー論について、具体的事例とともに鋭い視点からお話いただきました。偏見が「ないこと」が大切なだけでなく、偏見は誰でも持っている、それに気付くことが意識することが大切であると伝えられ、参加者は熱心に耳を傾けました。

辻亜沙子さん

Photo News ～まちのホットな話題～

市ホームページ「まちかどフォトニュース」でも人やまちのさまざまな話題を随時発信しています▶



第54回焼津市駅伝競走大会 快晴の空の下、健脚競う

1/25(日)、恒例の「焼津市駅伝競走大会」が大井川河川敷運動公園陸上競技場とマラソンコース「リパティ」で開催されました。市内外から集まった合計100チームが、「小学生」や「事業所」など8つの部門でそれぞれ健脚を競い合いました。

寒風の中、各チームの代表選手5人は、託されたたすきを一生懸命につなぎ、力強い走りを見せました。



左から上定松江市長、小泉凡氏、中野市長

八雲の縁を未来へ

市は「小泉八雲」に関連した歴史や文化を縁とする、島根県松江市との連携協定を締結し、1/18(日)に松江市にて小泉八雲のひ孫である小泉凡氏立ち合いのもと、締結式を行いました。

今後、八雲の価値や認知度のさらなる向上のため、両市が連携して八雲の研究・顕彰活動や観光イベントへの相互出展などを行い、文化や観光面をはじめ、幅広い交流を行っていきます。



文化財を火災から守る

1/27(火)、文化財を火災から守るための消防訓練が1月26日の「文化財防火デー」に合わせ、市内唯一の「国指定重要有形文化財」を所蔵する「成道寺」で実施されました。

訓練には、志太消防本部焼津消防署や成道寺関係者らが参加。迅速かつ的確な対応の大切さを共有し、貴重な文化財を守り継ぐ意識を高める有意義な訓練となりました。

我が子に触れて愛情と安心を伝える

1/21(水)、豊田地域交流センターで「ベビーマッサージと親子体操」が開催され、参加した親子は触れ合い、コミュニケーションを図りました。

ベビーマッサージとは、保護者が赤ちゃんの肌に触れることで愛情や安心感を伝える触れ合いケアのこと。子どものストレス解消や夜泣き改善などのほか、親子の信頼関係や心の安定が期待されています。

参加者たちは、我が子の肌に触れて目を見て話しかけ、親子の特別な時間を楽しんでいました。



小学生が『広報やいづ外国語版』について提案

1/29(木)、焼津西小4年3組の子どもたちが『広報やいづ外国語版』をより多くの外国人に見てもらう方法を市職員に提案しました。

自作した資料を使って、課題や解決策について発表した子どもたちは、「考えるのは難しかった」「焼津市が外国人にとって暮らしやすいと思ってもらいたい」とそれぞれの思いを語りました。提案をもとに市は『広報やいづ外国語版』周知のためのイラスト作成を子どもたちに依頼。イラストは3月中旬から市役所本庁舎で展示します。



教育を支える行政と大学

1/27(火)、学校教育の発展と人材育成に向けて、市教育委員会と静岡福祉大学は相互連携協定を締結しました。これにより、相互の人的・知的資源などの交流を図り、多様な分野での相互連携を進めます。また、市内幼稚園児や小中学生、教職員への直接的な支援も可能になります。

締結に当たり、羽田教育長は「学校を支え、学校と共に歩みを進めていきたい」とあいさつ。同大学の増田学長は「地域社会が求める豊かな人材を育てていきたい」と抱負を述べました。



今月の表紙 ぼくぼくの焼きいもで笑顔溢れる ～子ども焼きいも大会～

1/25(日)、小川地域交流センターで「子ども焼きいも大会」が開催され、多くの子どもたちがぼくぼくの焼きいもを楽しみました。

これは小川地区の父親などを中心とした市民有志のグループ「小川おやじの会」が企画・運営したもの。子どもたちは出来たての焼きいもを口いっぱい頬張ると、満面の笑みを浮かべていました。

